

情 報 公 開 文 書

研究の名称	乳輪温存乳房全切除（Nipple-sparing mastectomy）における Nipple Delay 法の乳頭乳輪複合体壊死（NAC necrosis）予防効果に関する後ろ向き観察研究
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 （所属・氏名）	消化器・腫瘍・総合外科 松井恒志
研究の概要	【研究対象者】 2022 年 1 月～2025 年 6 月の期間に、富山大学附属病院消化器・腫瘍・総合外科にて NSM を施行された乳癌患者 【研究の目的・意義】 本研究は、富山大学附属病院において NSM を施行された症例を対象とし、Nipple Delay 法の実施が術後の NAC 壊死の発生率を低下させるか否かを、後ろ向きに解析・評価することを目的とします。 本研究により当院における Nipple Delay 法の有効性が確認されれば、NSM の標準術式として確立され、より安全で整容性の高い乳房再建の提供に繋がり、患者の QOL 向上に大きく貢献できると考えられます。 【研究の方法】 対象となる方 2023 年 1 月から 2025 年 6 月までの期間に、富山大学附属病院消化器・腫瘍・総合外科にて乳房温存乳頭乳輪再建術を受けられた方を対象とさせていただきます。 利用させていただく情報 他の情報と照合しなければ個人を特定できないように加工し、診療録（カルテ）から以下の情報を利用させていただきます。 ・患者さんの背景（年齢、喫煙歴など） ・手術に関する情報（Nipple Delay 法の有無、手術時間など） ・手術後の経過（乳頭・乳輪の状態、合併症の有無など） 【研究期間】 実施許可日 ～ 2026 年 8 月 1 日 【利益相反の状況】 特定の企業等との利害関係はなく、研究者が公正な立場で研究を行うことができる体制を整えています。 【研究結果の公表の方法】 研究成果は、関連学会での発表または医学雑誌への論文投稿により公表します。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	他の情報と照合しなければ個人を特定できないように加工し、診療録（カルテ）から以下の情報を利用させていただきます。 ・患者さんの背景（年齢、喫煙歴など） ・手術に関する情報（Nipple Delay 法の有無、手術時間など） ・手術後の経過（乳頭・乳輪の状態、合併症の有無など） 他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者	富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科 講師 松井恒志

(研究代表機関における 研究責任者の所属・氏 名)	
研究対象者等(研究対象者 および親族等関係者) から の相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望 する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等につい て下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7331 FAX 076-434-5043 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科 松井恒志